

生きています

北原 恵子

大変ご無沙汰しております。お会いできなくなって、随分時間が経ってしまった気がします。リモートでの練習にさえ参加できず、本当に申し訳ありません。

近況報告ということで・・・とりあえず、生きています。

幼少より「巻き爪」に悩まされ、悪化し形成手術。麻酔が切れた時の痛さは出産より響きました。ある日、近所でお騒がせしているイタズラがうちに。玄関に使用済みマスクと缶飲料、どちらも伏せて置かれていました。しかも、夏には隣の団地で覗き騒動にまで発展し警察官（おそらく本物）が自宅に事情聴取へ。夜、眠れませんでした。

コロナ禍になって、2度も車をぶつけています。極めつけは、人生3度目のぎっくり腰で10キロ増量した身体にコルセットが合わない現実。踏まれたり蹴られたりです。

どうぞ皆さんもコロナだけではなく、様々な出来事に気をつけてお過ごしください。



野菜の花

森崎 百合子

去年は、色々な野菜を種から育てることに挑戦しました。花も可愛いですよ！

さて問題です。①～⑤の写真は何の野菜の花でしょうか？ ④の種はインコのエサの中から拝借しました。

①



③



⑤



②



④



④ ヲバ ⑤ スツキニ

正解は

① オクラ ② ナス ③ 落花生

今年は、孫が大好きな枝豆をたくさん育てようと思います。もちろん私のビールのお供にも♪



一難聴者のボヤキ

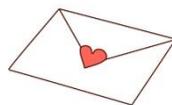
大分県難聴者協会 麻生敦子

「ありがとうございます」。難聴者協会が今まで続いてきたのは、ひとえに要約筆記の方々の存在があったからです。それを、つい「あることが当たり前」という感じになってしまっただけのお礼もしてこなかったと、ただただ申し訳ない思いです。もっと一人一人とお話しし、お互いの交流をして、その中で一方的にお世話になるばかりでなく「何をお返しし、また、お互いに助け合えるのか」と考えることが大切ではないかと思いました。

どんな人も、優れたところ足りないところ、身体、心、健康、障害、年齢、性別・・・一人一人違って、完全な人間はおりません。

私も後期高齢者と言われる年齢になって、体力、気力が年々衰えていっているのを感じます。今は、夕方になると腰が痛くて体がきつくて何をやる気力も出ないということがしょっちゅうです。記憶力も落ちた、物忘れがひどくて言葉が出ない、目も見えにくい、全国大会の準備をする体力があるかと不安です。

難聴者協会は、今、人数も少なく、年齢も高く、体力もない者ばかりです。何とか若い方に入って欲しいと思うけれどなかなか出会いません。難聴者協会の魅力は？ 会費が高い？ 入っていてメリットがある？ 聞こえなくてどんなことに困っているのか？ 何をしてもらったら助かるのか？



それを考え解決していくことが、また全ての人たちの役に立つことにもなる・・・。

何を書きたいのかとりとめがありません。それでも「何とかなる」と前を向いて行きたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

一方的なラブレターです。

想う

朝木 由美子

「座右の銘」とまでは申しませんが、好きな格言、ありますか？ その言葉のどこが、あなたのハートにささったのでしょうか。皆さんに聞いてみたら、きっと、「あ、それもいいなあ、忘れてたー」って思うような言葉がたくさん出てくることでしょう。

そういう、何気ない話をしながら、その会話を生の音源に、要約筆記の練習をして、いつでもできそうだったことがこんなに難しくなるなんて、きっと誰もが想定外でした。

不自由な生活の中でやっと、今までは当たり前と思っていたことが実はとても幸せなことだったと、気づくことができたかもしれません。この災難を乗り越えたらきっと、ストレス耐性の強いたくましい子どもたちが育つことかと。

災い転じて福となす ピンチをチャンスに社会に巣立ってほしいと思う今日この頃です。

